



宇宙には、太陽フレア、ガンマ線バースト、超新星爆発、中性子星連星合体、銀河間ジェット、銀河団衝突など、様々なスケールに渡って高エネルギー天体現象が存在する。近年、電磁波・ニュートリノ・宇宙線・重力波による多波長・マルチメッセンジャー天文学はめざましい発展を遂げており、様々なスケールの物理や観測的事実を統合的かつ無矛盾に理解することがより重要となっている。そこでパルサー磁気圏、相対論的ジェット、恒星進化、超新星爆発といった幅広い分野の招待講演を中心とした研究会を開催し、多角的な視点を養い、分野を越えた共同研究を促進する機会としたい。また本研究会では十分な講演時間を確保し、若手の勉強会や座談会的な要素も兼ね備えた研究会としたいと考えている。

招待講演者

- 柴田晋平（山形大）

- 當真賢二（東北大）
- 中里健一郎（九州大）
- 高橋亘（国立天文台）

会場：総合研究棟大会議室（初日）、宇宙線研6階大会議室
（2日目）

Program

Oct. 20 (Mon.)

- 10:00 - 10:30
森正光（沼津高専）
「アクシオンを考えた場合の超新星爆発の長時間計算」
- 10:30 - 11:00
佐伯聖真（広島大）
「パルサー磁気圏のアウトターギャップからのシンクロトロン放射の偏光モデル」
- 11:00 - 11:30
上井戸一紀（東京大）
「ぶ厚い相対論的速度シアにおける運動論的不安定」
- 11:30 - 12:00
小橋亮介（宇宙線研）
「超新星残骸における宇宙線加速長期進化の解明に向けて」
- 12:00 - 13:30
昼食休憩
- 13:30 - 15:30
中里健一郎（九州大）
「超新星ニュートリノと超新星背景ニュートリノ」
- 15:30 - 15:45
休憩
- 15:45 - 17:45
高橋亘（国立天文台）
「回る回るよ爆発天体の親星（仮）」

- 18:00 -
懇親会

Oct. 21 (Tue.)

- 10:00 - 12:00
當真賢二（東北大）
「ブラックホールジェットの物理の理論とその観測的検証」
- 12:00 - 13:00
昼食休憩
- 13:00 - 13:30
鈴木昭宏（東京大）
「大質量赤色巨星の動径振動と質量放出過程」
- 13:30 - 15:30
柴田晋平（山形大）
「パルサー磁気圏の加速効率とパルサー星雲への新しい攻略法」
- 15:30 - 15:45
休憩
- 15:45 - 16:15
佐藤大仁（東京大）
「Light-curve Investigations of Electron-capture Supernovae」
- 16:15 - 16:45
田中周太（青学大）
「パルサー星雲の乱流加速モデル: 若いパルサー星雲への適用」
- 16:45 - 17:15
霜田治朗（宇宙線研）
「最高エネルギー宇宙線の加速機構解明への挑戦」
- ポスター講演
衣川智弥（信州大）
「超新星母天体における連星進化の影響」

世話人：霜田治朗、澤田涼、小橋亮介、草深陽、浅野勝晃（宇宙線研究所）

